

第76回国民体育大会山形県予選会 兼 第48回東北総合体育大会山形県予選会 バドミントン競技 監督・代表者会議資料

＜競技上の注意＞

1. 本大会は（公財）日本バドミントン協会競技規則、同運営規程並びに公認審判員規程により行います。
2. 進行状況に応じて試合開始時刻及びコートを変更する場合があります。
3. 試合が連続する場合のインターバルは10分間とします。
4. 試合の得点は、準々決勝からは、21点3ゲームマッチ、その他の試合は、15点3ゲームマッチとします。
5. シャトルは持ち寄りとします。ただし、各種別の準決勝・決勝は主催者で準備します。
6. ウェアは審査合格品とし、背面に、少年は学校名、それ以外については地区名を表示してください。背面布をウェアに取り付ける場合は4点をしっかり止めてください。
7. コート及び競技区域内において、選手、監督及びコーチ等のスマートフォン等の電子通信機器の使用を禁止します。
8. コートサイドには、カゴやドリンクケースを設置しません。給水のためのボトル、タオル、着替え用のウェア等をすべてラケットバック等に入れ、そのままフロアーに置いてください。チェンジエングの際はそのまま持って移動してください。
9. コーチングシートは、1席のみとし、ゲーム毎の座席の移動はしないものとします。コーチングシートに入る際、マッチにふさわしい服装とします。ユニフォーム、襟付きシャツ、ポロシャツ、ブラウス、長ズボン（7分丈は可、短パンは不可）またはスカートとしてください。また、スリッパ、サンダルは禁止とします。試合後、椅子の座面、背もたれ等の消毒をお願いします。なお、コーチングシートに座ることができるのは、少年の部については当該監督又はコーチのエントリーした者のみとします。
10. 空きコートでの練習は禁止します。
11. 選手はコールされたら速やかにコートに入ってください。コールされてから5分経過しても入らない場合は、失格を宣する場合もあります。
12. 試合前後の握手は行わないでください。
13. 次の行為は慎んでください。
 - (1) 特にダブルスのゲーム中のタッチなど、互いの身体が接触するような行為
 - (2) 意識を高めるために声を出すような行為
 - (3) プレー中に汗をぬぐって、そのままフロアーに飛ばすような行為
 - (4) シャトルコックを手から手への受け渡し（受け渡しはラケットを介してください。）
14. マッチ中の怪我や病気による中断は、原則としてレフェリーが判断し、相手選手への中断時間を主審に告げます。ただし、鼻血等の出血・嘔吐をした場合は、直ちに中断しレフェリーが判断・対応します。なお、当該選手（又は監督）からの棄権申告についてもレフェリーが判断します。
15. 成年男子及び成年女子については、東北選手権の代表決定戦を行う場合があります。

＜審判上の注意＞

1. 各試合のラインジャッジは、原則として当該選手の所属校又は所属地区より1名の協力をお願いします。なお、協力できるラインジャッジがない場合は、本部まで申し出てください。ラインジャッジ、得点係は、毎試合後、椅子の座面、背もたれ、得点版等の消毒を各自お願いします。加えて、各試合終了後、当該コートのモップ掛けをお願いします。
2. 原則として、敗者審判制とします。当該コートの次の試合について、複は、主審・得点係、単は、主審をお願いします。オーバールールは公認審判員が主審の際に適用します。準決勝より、公認審判員が主審を行います。
3. 主審は受付で配布する使い捨て手袋を使用してください。主審は必要最低限のコールのみ行います。主審はフォルトの場合、ジェスチャーによって理由をプレーヤーに伝えます。
4. ラインジャッジ、得点係は、受付で配布する使い捨て手袋を使用してください。ラインジャッジはアウトのコールを行わず、ジェスチャーのみとします。
5. サービスジャッジは配置しません。

＜新型コロナウイルス感染症の感染防止に係る留意事項＞

1. 本予選会における感染防止対策は、「国民体育大会山形県予選会兼東北総合体育大会山形県予選会における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」（令和3年5月14日付け公益財団法人山形県スポーツ協会）、加えて、「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン（3章バドミントン競技大会・イベント実施にあたって）」（令和2年6月12日付公益財団法人日本バドミントン協会）に基づき実施します。監督、コーチ、引率責任者、大会役員、報道関係者等（以下、大会関係者）、事前に確認願います。
2. 大会関係者の体調の確認等については、次のとおりとします。

大会14日前から大会終了日まで、健康管理を徹底するとともに体温及び健康状態（下記(1)～(8)）を毎日チェックし、「健康チェックシート」（県バドミントン協会HPよりダウンロード）に必要事項を記入（少年の部については、所属校の顧問等が、毎日確認すること）の上、を参加する初日に提出してください。二日目以降は、各日の受付時に初日に提出した「健康チェックシート」に、体温及び健康状態を追記してください。

 - (1) 体温（37.0以上の発熱の有無）
 - (2) 咳、喉の痛みなどの風邪の症状
 - (3) だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - (4) 体が重く感じる、疲れやすい等
 - (5) 味覚や嗅覚の異常
 - (6) 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触
 - (7) 同居家族や身近な知人で感染が疑われる方
 - (8) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされる国、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触
3. 大会関係者が感染疑いの症状等がある場合の対応は下記のとおりとします。
 - (1) 大会関係者が大会開催2週間前から大会参加までに、感染疑い者（健康チェックシートの記載項目（上記2の(1)～(8)）に該当）がありPCR検査もしくは抗原検査で「陰性」であった者、又は医療機関を受診しなかった者が発生した場合の対応
大会開催日の2週間前の時点もしくはそれ以降に感染疑いの症状が発生していた場合、原則当該者は参加を辞退すること。また、所属先は派遣を取り消すこと。ただし、次の両方の条件を満たしている場合、大会出場を認めても構わない。
 - a 感染疑いの症状が発生した後、少なくとも8日が経過している（発症日を0日として8日間のこと）。
 - b 薬剤を服用していない状態で、解熱後及び症状消失後、少なくとも3日が経過している（3日が経過している：解熱日・症状消失日を0日として3日間のこと）。
 - (2) 大会関係者が大会開催期間中に感染疑いの症状（健康チェックシートの記載項目（上記2の(1)～(8)）に該当）がある者が発生した場合の対応
 - a 感染疑いの症状がある選手、監督、コーチ、引率責任者の所属する団体は、参加できない。
 - b 感染疑いの症状がある大会役員、報道関係者等は参加できない。
 - c 上記に該当する軽症者は、各所属の責任において原則速やかに帰宅させる。
4. 開場・受付及び競技開始の時刻を下記のとおりに変更します。

9日（金）少年の部	開場・受付	8：30～、競技開始	10：00～
10日（土）少年の部	開場・受付	8：00～、競技開始	9：00～
少年の部以外	開場・受付	13：00～、競技開始	14：00～
11日（日）全種目	開場・受付	8：00～、競技開始	9：00～
5. 受付場所は、次のとおりとします。
 - (1) 初日の競技開始前（～10：00）・2日目の競技開始前（～9：00） ※図1参照
A検温エリア（大会役員・審判員）、B検温エリア（山形・新庄）、検温エリア（酒田・鶴岡・米沢）
 - (2) 初日・2日目の競技開始後及び3日目終日 ※図2参照
A検温エリア（全入館者）
6. 受付の際、当日参加する大会関係者は、「健康チェックシート」に必要事項を記入の上、受付時に提出してください。検温、消毒の後、IDを配布します。（高校生は、事前にIDを各校で準備願います。）なお、少年の部については、所属校の顧問が、記載内容、当日の体温を確認し、人数分の「健康チェックシート」を人数分まとめて提出願います。なお、一度退館し、再入場の際は、再度検温します。

7. 9日(金)に予定していた監督会議は行いません。大会関係者は、「監督・代表者会議資料」(本資料)の記載内容の確認と、大会当日の徹底をお願いします。なお、事前の棄権又は監督・コーチに変更のある場合は、競技開始前に本部まで申し出てください。
8. 全日程において、競技開始前(開場から競技開始前)に予定していた練習は行いません。各日の初回戦前に3分間の練習を行ってください。複は、パートナー同士、単は対戦相手とします。練習のシャトルは、持ち寄りとします。
9. 本大会は無観客とします。大会関係者のみ入場することができます。大会2日目以降については原則として当日の試合出場者、監督、コーチ等のみ会場への入場を認めます。ただし、前日までに敗退し試合がない選手も観客席への入場は認めます。
10. 体育館内の廊下、階段等の動線は、一方通行になるよう指定します。※ 図1、2、3参照
観客席の割当てについては、図3のとおりとします。指定された場所で、隣の人と1m程度の間隔をとりマスク着用をお願いします。また、大きな声での会話や応援を禁止します。
11. 競技を行っていない時はマスク着用(不織布マスク)をお願いします。また、手洗い、アルコール等による手指消毒の徹底、ほかの参加者、大会役員等との距離の確保(できるだけ2m以上を目安、最低1m以上)をお願いします。
12. 機械換気及び一部のドア、窓の解放による常時換気を行います。また、レフェリーの判断により、一定の時間、全てのドア、窓を開放する全館換気を行う場合もあります。
13. ゴミは、すべて持ち帰ってください。
14. 飲食の際は、周囲の人となるべく距離をとって、対面を避け、極力会話はしないでください。特に、食事の際は、食前、食後の消毒、黙食を徹底し、できる限り屋外で食べるなど配慮願います。

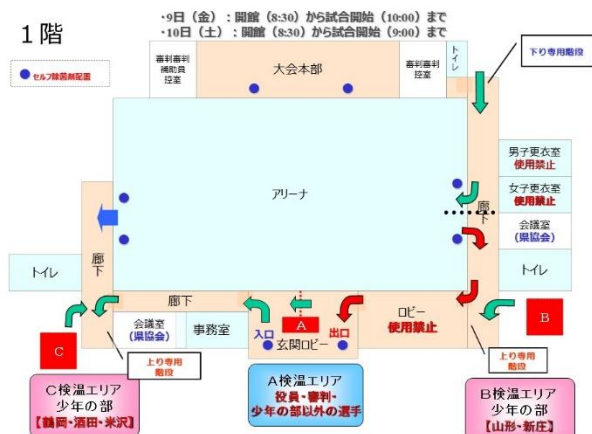


図1 初日・2日目の競技開始前の動線

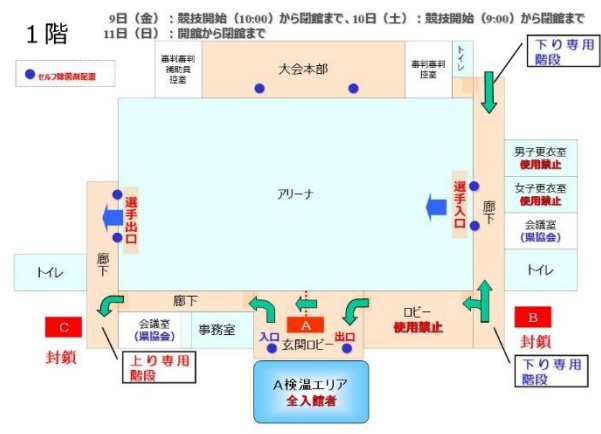


図2 初日・2日目の競技開始後及び3日目終日の動線

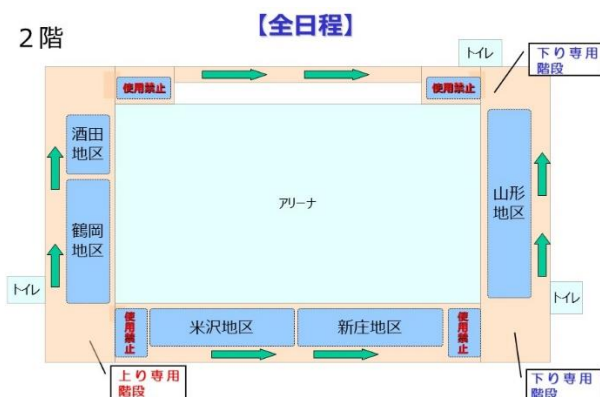


図3 観客席の各地区の割当て及び動線